

AV - P960Exif変換ソフト (ExifCnv.exe)

操作説明書 V1.0.1

ExifCnv は、ユーザーが用意した Jpeg ファイルを AV-P960 で表示可能な形式ファイルに変換するユーティリティです。付加機能として画像内容を確認する Jpeg 用 ImageViewer も備えています。

ご注意) Jpeg ファイルによっては、変換ができないものもあります。ご了承ください。

動作環境

Microsoft Windows98,98SE,ME,XP,2000 で動作可能。

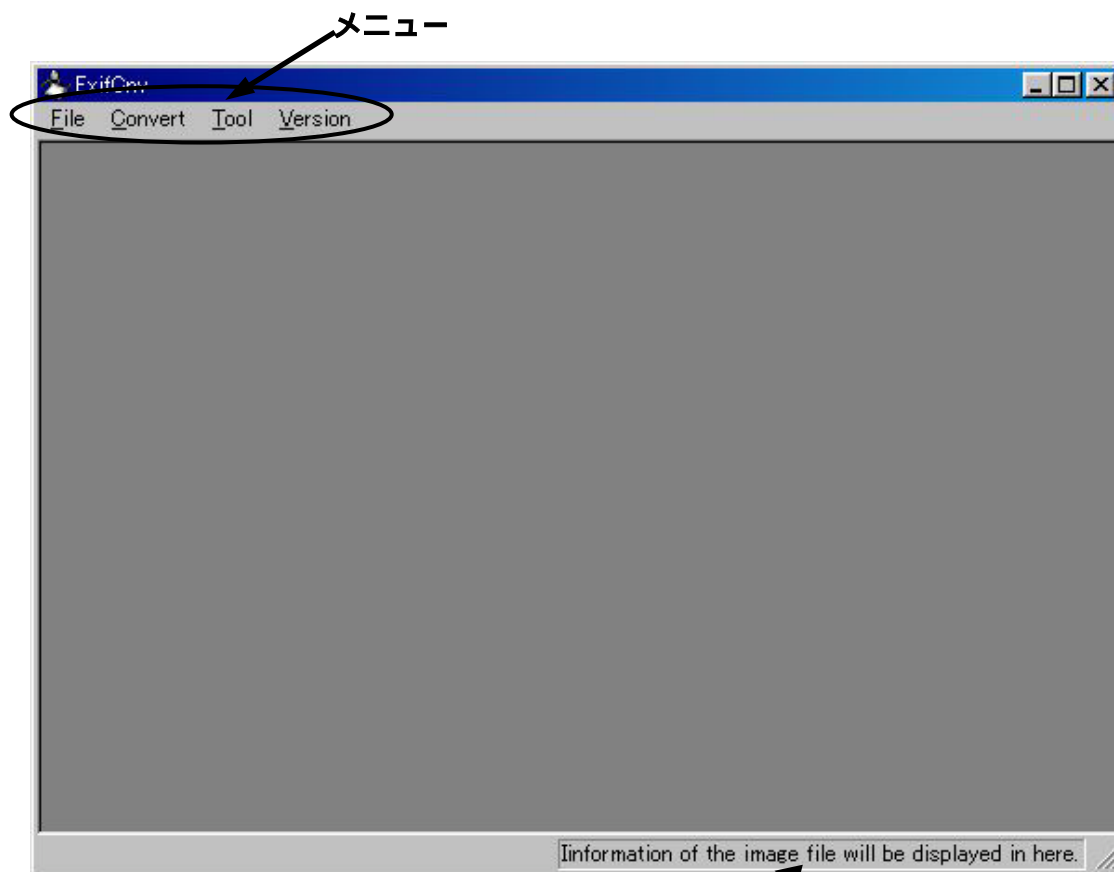
MFC42.DLL,MSVCRT.DLL が必要です。

インストール方法

ExifCnv.exe を任意のフォルダーにコピーします。

操作方法

ExifCnv.exe 起動すると以下の画面が表示されます。



各部の名称

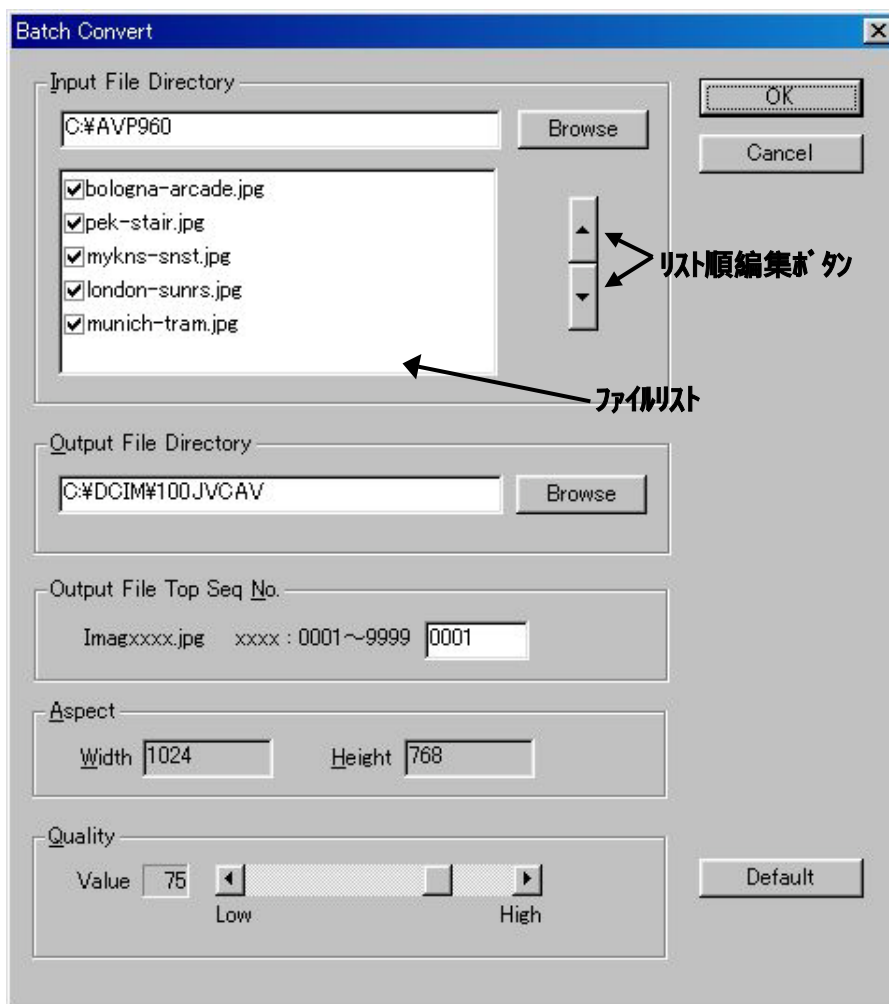
ステータスバー

【メニュー】

Convert

Batch Convert

本プログラムの主機能である画像変換の設定ダイアログ（下図）を表示します。



ダイアログの説明

・Input File Directory

変換前の原画像の格納フォルダを指定します。フォルダの指定は直接入力またはBrowseボタンで行います。

指定するとファイルリストにフォルダ内のJpegファイルのリストが表示されます。

変換はリスト順に行われます。順番を変えたい場合は、リスト上の変えたいファイル名をクリックして選択し、リスト順編集ボタンで順番をかえます。

またファイル名の左にあるチェックボックスのチェックを外すと変換対象から外すことができます。

（デフォルトはチェック有）

変換対象のファイルは9999個以内として下さい。

・Output File Directory

変換後の画像の格納フォルダを指定します。

フォルダの指定は直接入力またはBrowseボタンで行います。

AV-P960で表示できるSDカードを作成するためには、以下のフォルダー構成が必要です。

¥¥DCIM¥100JCAV¥Imagxxxx.jpg (xxxx：数字)

・ Output File Top Seq No.

変換処理はファイルリスト順（チェックボックスがチェックされているファイルのみ対象となります。）で行われ、変換後 Imagxxxx.jpg（xxxx：変換順の番号）と名前されます。

この時の最初の付与番号を指定します。

例）xxxx=0010 とすると出力画像は Imag0010.jpg,Imag0011.jpg,Imag0012.jpg... となります。指定は 0001～9999 の範囲で指定して下さい。Imag9999.jpg の次は Imag0001.jpg に戻ります。

出力先フォルダに同名の画像ファイルがある場合は、上書きしますので注意してください。

・ Aspect

出力画像サイズは、1024×768 固定です。（AV-P960 が XGA サイズのみの対応のため）

・ Quality

変換ファイルの圧縮画像品位を設定します。設定範囲は 1～100（デフォルトは 75）で値が大きいほど変換後の画質が高品位になり、ファイルサイズは大きくなります。

【ご注意】画像品位と圧縮率について

画像品位は原画以上になることはありません。

原画サイズより小さくサイズする場合でも、原画の圧縮率が高い場合はファイルサイズが原画ファイルより大きくなる場合があります。

・ Default

ダイアログの設定（Input File Directory, Output File Directory, Output File Top Seq No.）をデフォルトに戻します。

設定が終わったら、OK ボタンをクリックすると変換処理が開始されます。変換処理中はダイアログが進行状況を表示します。変換を途中で止めたい場合は、Abort ボタンをクリックします。

Image View には、変換終了後の画像が表示されます。

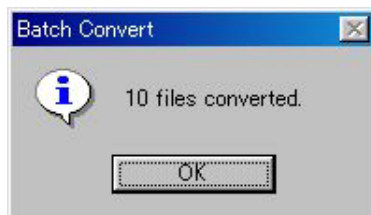
一括変換処理中は×ボタンは無効になります。最大化、最小化ボタンは、1 画像変換終了後に動作します。変換中には動作しません。



一括変換中の画面

複数の画像変換中に **Abort** をクリックした場合は、現在変換中の画像が変換終了した後に中断します。

変換処理が終了すると、以下のダイアログボックスが現れます。OK ボタンをクリックして終了させて下さい。

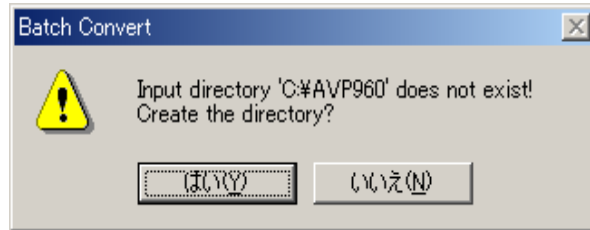


Input File Directory の指定フォルダ がなかった場合

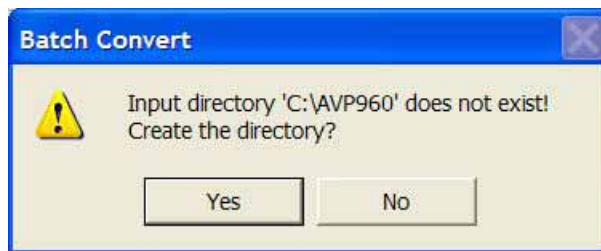
以下のダイアログが表示され、フォルダを作るか否かを質問されます。

「はい」をクリックするとフォルダ作成します。作成されたフォルダに画像ファイルを入れメニュー選択の Batch Convert からやり直して下さい。

「いいえ」をクリックするとキャンセルされます。



日本語OSの場合

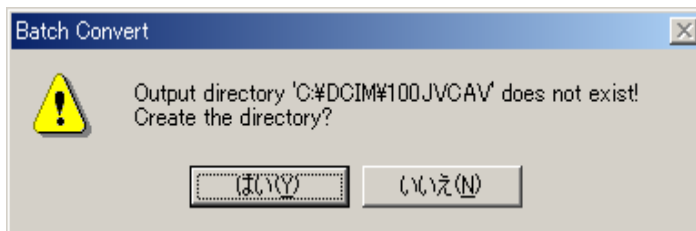


英語OSの場合

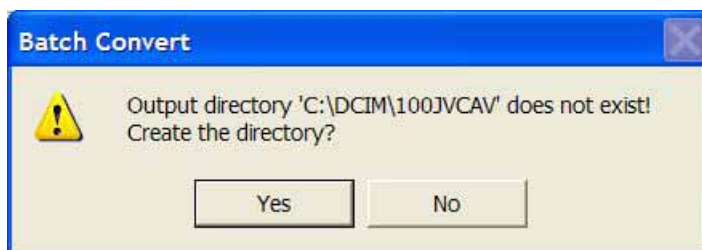
Output File Directory の指定フォルダ がなかった場合

以下のダイアログが表示され、フォルダを作るか否かを質問されます。

「はい」をクリックするとフォルダ作成し、変換を開始します。「いいえ」をクリックするとキャンセルされます。



日本語OSの場合



英語OSの場合

本ソフトで、変換できないファイルの場合

以下のダイアログが表示され、処理をスキップすることを知らせます。

OK をクリックすると、変換とファイル名の番号付与はスキップされ次のファイルから続行します。



以下は、Convert 以外の付加機能です。

File

Jpeg 用 ImageViewer の操作です。

Open (Ctrl+O)

画像を選択して開きます。

Close (Ctrl+F4)

選択されている画像を閉じます。

Tool

Status Bar

ステータスバーの表示/非表示の切り替えを行います。

Size Up ([])

画像を開いた時にポップアップメニューに追加されます。選択画像の表示を拡大します。

変換処理中は無効になります。

Size Down ([])

画像を開いた時にポップアップメニューに追加されます。選択画像の表示を縮小します。

変換処理中は無効になります。

Size Raw (Ctrl+Alt+0)

画像を開いた時にポップアップメニューに追加され、選択画像が 1 倍表示以外の時有効になります。

選択画像を 1 倍表示します。変換処理中は無効になります。

Fit window (Ctrl+F)

画像を開いた時にポップアップメニューに追加されます。画像に合わせてウィンドウサイズを調整します。

Window

画像を開いた時、一括変換を開始した時にメニューに追加されます

Layer

画像ウィンドウを重ねて表示します。

Horizontal

画像ウィンドウを横長にして並べて表示します。

Vertical

画像ウィンドウを縦長にして並べて表示します。

Close All (Ctrl+L)

全ての画像ウィンドウを閉じます。

Version

本プログラムのバージョン表示をします。

【ステータスバー】

開いた画像の情報（画像サイズ, 圧縮情報） 一括変換の変換サイズ情報（主画像）を表示します。

以上